

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネクストステップ (放課後等デイサービス)		公表日		R7 年 3月 3日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3	活動場面や利用者の状態に応じて、ホールや個室など使い分けて対応しています。	年齢や人数、活動によっては狭く感じる事があるため活動内容や活動場所を工夫するなどして対応していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	2	人員基準を満たした配置になっています。状況によっては職員が不足しそうな場面もありますが、活動内容や環境調整を行いながら対応しています。また送迎などで人員が少なくなると予測される場合は、他事業所から手伝いに来てもらうなどしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	部屋の使い方をイラストで示したり、スケジュール等をわかりやすいように掲示してあります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日の清掃・消毒を行い清潔な環境に気を付けています。部屋によって使用用途を決め、活動しやすいようにしたり、利用者の特性を考慮し環境をその都度整えています。	年齢や人数、活動によっては狭く感じる事があるため活動内容や活動場所を工夫するなどして対応していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合には個室を使用しています。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	8	0	職員で振り返りを行い、共有しています。また、月1回全員でミーティングを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者向け評価表を活用し毎年アンケートを実施しています。その結果を基に、業務内容を見直しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	無回答1		今後、外部評価実施に向けて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社会福祉協議会や県の発達障害支援センター・外部機関の研修に参加しています。		
適切 な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページにて公表しています。法改正後の支援プログラムについては2025年3月に公表予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	モニタリングやカンファレンスで情報共有し、本人と保護者のニーズや課題を客観的に捉え分析した上で支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	子どもに関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し情報共有を図っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	ミーティングで情報共有を行うとともに、職員が個別支援計画をいつでも確認できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	標準化されたアセスメントツールは使用していないが、日々の行動観察を元に状況を職員間で確認しています。	標準化されたアセスメントツールの使用を今後検討したいと思っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	放課後デイサービスガイドラインを参考にしながら計画を立案しています。カンファレンスやモニタリングを通して具体的な目標や支援内容を提示できるように心がけています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	プログラムの目的や子どもの様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合えるように努めています。	多職種の強みを活かし、様々なアイデアを出し合っていきたいと思っています。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	季節の遊びや運動、集団ゲーム、お出かけ、クッキングなどバリエーションのある活動を意識してプログラムを計画しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	モニタリングを通してアセスメントを行いながら、必要な支援を行えるように個別活動と集団活動を組み合わせるように意識しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	当日の支援開始前に、活動内容や職員の動きを確認しています。長期休暇期間は、事前に書面にて活動内容を共有し支援開始前に最終的な確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	当日は難しいことが多いですが、翌日には振り返りを行っています。職員間で出来る限り支援内容を共有するよう心掛けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	実施した支援内容を記録に残しています。連絡事項や申し送りなどを活用し些細なことでも記録するよう心掛けています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	カンファレンスを通して利用者の情報共有を行っています。6カ月に1回以上の頻度でモニタリングを行い支援計画の振り返りや修正を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0	放課後デイサービスガイドラインを参照しながら支援をしています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	活動の中で自己選択する場面を設けながら支援しています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	会議の内容に応じて、出席者を相談し決めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要に応じて行政機関や児童発達支援センター、主治医、学校などと情報共有を行っています。関係機関との連携を図り情報共有や支援方針について共有を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	年度初めに学校とおたよりや送迎時間などについてやり取りをどのように行うか相談しています。適宜、送迎時などに先生から申し送りを受け対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	児童発達支援事業所を利用されている場合には、利用前のサービス担当者会議にて情報収集を行っています。また、発達支援センターや保育園、リハビリなどの様子は相談員や保護者から聴取しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	まだ移行するケースがない。	適宜、相談支援員や次に利用される事業所へ申し送りを行い、切れ目のない支援を行えるよう準備していきたいと思えます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	モニタリングや学校訪問に同席してもらい学校での様子や具体的な支援内容について共有し助言を受けています。また発達支援センターなどの研修に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	施設に併設されている学童クラブや地域の学童クラブとイベントやレクリエーション活動を共同して行っています	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	日々の送迎時に子どもの状況や課題について話をする機会を設けています。必要に応じて個別に相談の時間も設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	保護者会にて保護者向け研修会を実施したり、地域で開催される講演会や研修会をお知らせしています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	利用開始前に説明を行っています。また施設内に掲示しています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	お子さんと保護者の意向を計画書に記載しニーズを踏まえた支援計画書を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	支援計画内容を説明する機会を設け、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	連絡帳や送迎時、モニタリングなどの場面で適宜対応するように心がけています。	引き続き、支援をしていけるように自己研鑽を行っていききたいと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者会を開催し、保護者同士話し合う機会を設けています。	保護者同士が気軽に話しやすい場となるよう、保護者会の進め方など工夫していききたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	早急に対応できるように事業所内で連絡体制を整えています。必要に応じてミーティングを行い職員間で共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月「おたより」を発行し、活動内容や予定をメール配信システム「コドモン」にてお知らせしています。	引き続き、より良い情報発信や連絡の方法を検討していききたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	関連機関と情報共有を行う際には家族に了承を得ています。個人情報が入っている棚は施錠管理を行っています。	掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう十分に留意していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	必要に応じて、絵カードやジェスチャーなどを使い意思疎通を図れるように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	施設で子ども食堂を実施したり、音楽会を開催したりするなど、地域に開かれた事業運営を図っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	契約時に説明を行っています。また、感染が流行している時期などには感染症にかかった際の対応についてお知らせをしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	定期的に避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	利用開始時や体調不良があった場合など看護師が確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食物アレルギーがある場合には、医師に書類を記載してもらい提出してもらっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	マニュアルを作成し、子どもの安全が確保された上で支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全計画に基づき、感染症やケガなどについて注意喚起したり、おたよりにて事業所の取り組みの周知に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット・事故報告書を作成し、事業所内で共有し対応策を立てています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	石川県主催の研修に参加し伝達講習を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	マニュアルに準じて家族への説明・同意を得た上で計画書への記載を行っています。	